CG-WLFPSU2G

詳細設定ガイド

PN Y613-04220-01 Rev.B

本書の読みかた

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

記号	意味
注意	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。

●表記について

表記	意味
本製品	CG-WLFPSU2G を指します。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　　]	[ ] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例: OK → [OK]
Windows XP	次のいずれかを指します。 ・Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 1 ・Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system を指します。

●イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

●正式名称について

- Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating system です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft®Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
- 本書では、複数の OS を「Windows XP/2000」のように併記する場合があります。

本書について

本書では、web ブラウザから開く「設定ユーティリティ」を使用して、本製品の詳細設定する場合の説明を記載しています。必要に応じて本書をご覧になり、設定を行ってください。

本製品とプリンタの接続方法や、プリントアウトなどの基本的な説明や注意事項は、本製品付属の「取扱説明書」をご覧ください。

設定用ツールの「PS Admin Ⅲ」の画面の説明は、CD-ROM に収録されている「PS Admin Ⅲ取扱説明書」をご覧ください。

目　次

セキュリティの設定について

無線LANではデータの通信に電波を利用しているため、電波が届く範囲であれば、通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりする恐れがあります。本製品では、これらの対策として次のようなセキュリティ機能を用意しています。このPARTでは、セキュリティの設定方法を説明しています。

●**通信相手を識別する - ESSID（Extended Service Set IDentifier）**

無線**LANに接続する機器を識別する名前**です。SSIDと呼ばれることもあります。同じESSIDを持つ無線LAN機器同士でしか通信できないため、独自のESSIDを設定することにより、外部から不正侵入される危険が減少します。

接続するネットワークにESSID設定がされているときは、このPARTの「ESSIDを変更する」（次ページ）をご覧ください。

●**通信内容を暗号化する - WEP（Wired Equivalent Privacy）**

通信内容を暗号化すると、仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができなくなります。このWEP機能を有効にして通信データを暗号化することをお勧めします。
ただし、通信先の機器側にもWEP機能がないと使えません。

本製品は、「64bit」と「128bit」の2種類のWEPに対応しています。接続するネットワークの設定に合わせて選択してください。

・「64bit」　：16進数（0～9、a～f）で10桁の暗号キーを利用可能
・「128bit」　：16進数（0～9、a～f）で26桁の暗号キーを利用可能

- **「128bit」の方がより安全です。また、定期的に暗号キーを変更することで、より安全性が高まります。**
- **アクセスポイントを使って通信を行うときは、アクセスポイント側に合わせて設定してください。アクセスポイントの設定等の確認方法は、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。**

WEPの設定をしたい場合は、「WEPを設定する」（P.6）をご覧ください。

●**暗号キーを使用して通信内容を暗号化する - WPA（Wi-Fi Protected Access）**

通信内容を設定した暗号キーを使って暗号化します。暗号キーは一定時間ごとに自動的に更新されるのでWEPよりも解読されにくくなります。通信先の機器側もWPA機能がないと使えません。
本製品は、家庭で使用できるWPA-PSK（パーソナル）に対応しています。
WPAの設定をしたい場合は、「WPA-PSK（パーソナル）を設定する」（P.7）をご覧ください。

●本製品のパスワードを変更する

不正に無線LANに侵入した第三者によって本製品の設定を変更されたり、設定されている内容を閲覧されたりしないように、本製品のパスワードを設定しておくことをおすすめします。設定方法については、「PART3 トラブルや疑問があったら」（P.25）をご覧ください。

■ESSIDを変更する

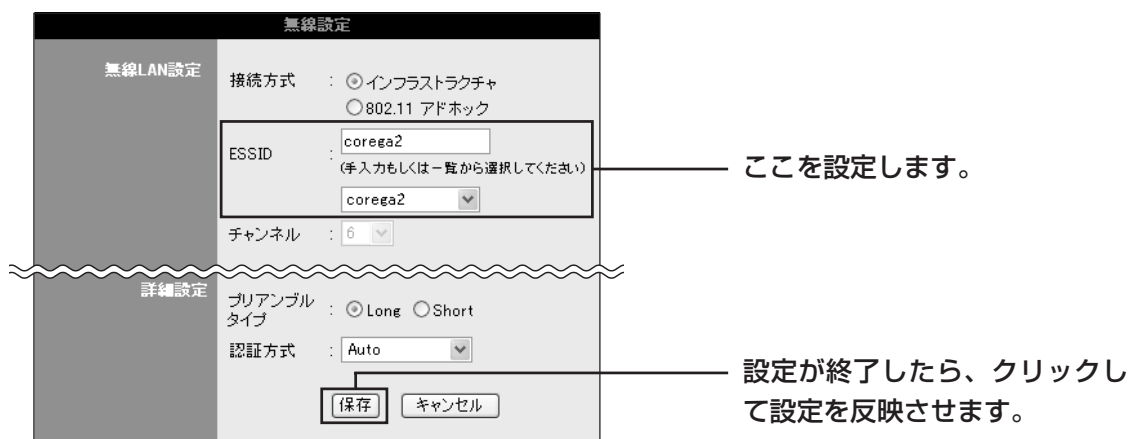
●本製品のESSIDを変更する

接続するネットワークに合わせて、ESSIDを変更します。設定した内容を忘れないように、作業をはじめる前に、下の記入欄に新しいESSIDを正確にメモしておくことをおすすめします。
※本製品の工場出荷時は、「corega」に設定されています。

新しいESSID	

・ESSIDは、1～32文字以内の、半角英数字、記号(0～9、a～z、!”#$%&’()*+,-./:;<=>?@[\]^_{¦}˜)を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

1 「設定ユーティリティ画面を開く」（P.9）をご覧になり、本製品の設定ユーティリティを起動します。

2 「設定」－「無線設定」をクリックします。

3 既存のネットワークと同じESSIDを直接入力するか、▼ボタンをクリックして画面をプルダウンさせ、その中から同様のESSIDを選択します。
例:既存ネットワークのESSIDが「corega2」の場合

4 ［保存］をクリックし、設定を反映させます。

■ WEP を設定する

本製品の設定ユーティリティを使って、WEP の設定を行います。接続するネットワークと同じ設定をしてください。

・**WEP の設定は、必ず接続するネットワークと同じ設定を行ってください。違う設定をすると通信することができず、印刷や本製品の設定変更等ができなくなります。**
ネットワークのセキュリティ設定の確認方法は、アクセスポイント、ルータ等の各取扱説明書をご覧ください。

1 「設定ユーティリティ画面を開く」（P.9）をご覧になり、本製品の設定ユーティリティを起動します。

2 「設定」－「無線設定」をクリックします。

3 「暗号化設定」の「WEP」を選択し、「64Bit」「128Bit」のどちらかを選択します。

・**「128bit」の方がより強固なセキュリティをかけることができます。**

4 キー１～４に、暗号キーを直接入力します。

・「64bit」　：16 進数(0 ～ 9、a ～ f)で 10 桁の暗号キーを利用可能
・「128bit」：16 進数(0 ～ 9、a ～ f)で 26 桁の暗号キーを利用可能

・**暗号キーは、定期的に変更してください。より安全性が高まります。**

5 「使用キー」で使用するキーナンバー１～４を選択します。
通信相手と同様のキーを選択してください。

6 ［保存］をクリックし、設定を反映させます。

■WPA-PSK（パーソナル）を設定する

本製品の設定ユーティリティを使って、WPA の設定を行います。接続するネットワークと同じ設定をしてください。

・WPA の設定は、必ず接続するネットワークと同じ設定を行ってください。違う設定をすると通信することができず、印刷や本製品の設定変更等ができなくなります。
ネットワークのセキュリティ設定の確認方法は、アクセスポイント、ルータ等の各取扱説明書をご覧ください。

1　「設定ユーティリティ画面を開く」（P.9）をご覧になり、本製品の設定ユーティリティを起動します。

2　「設定」－「無線設定」をクリックします。

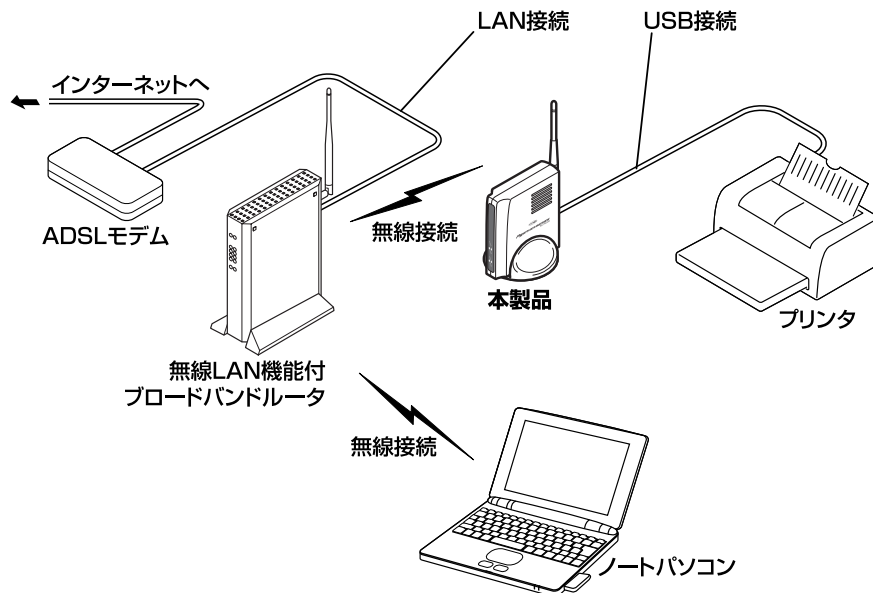
3　「暗号化設定」の「WPA-PSK（パーソナル）」を選択します。

4　共有キー１～４に、半角英数記号で８～63 文字を入力します。

・入力可能な半角英数字・記号は「０～９、a～z、！”＃＄％＆’（）＊＋，－．／：；＜＝＞？＠［￥］＾＿｛￤｝￣」です。

5　［保存］をクリックし、設定を反映させます。

設定ユーティリティ画面について

このPARTでは、設定ユーティリティの各画面について説明します。
本製品を設定ユーティリティで設定する際は、下記接続図例のように本製品を接続して設定を行ってください。

※本製品とパソコンを直接有線で接続する場合は、クロスケーブルを使用してください。

設定ユーティリティ画面を表示させるには

本製品を設定ユーティリティで設定する際は、「Internet Explorer 5.5」以降、「Safari 1.2」以降をおすすめします。

設定ユーティリティを表示させるにはパソコンの設定をする必要があります。パソコンの設定方法は「PART3 トラブルや疑問があったら」「Q&A」「本製品の設定ユーティリティが表示されない」（P.26）をご覧ください。

●設定ユーティリティ画面を開く

設定画面を表示するには、次の手順に従ってください。

1　ご使用のパソコンからWebブラウザを起動します。

2　Webブラウザのアドレス入力欄に「192.168.1.240」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

- **この値は本製品の工場出荷時のIPアドレスです。本製品のIPアドレスを変更した場合は、変更後のIPアドレスを入力してください。**
- **本製品にパスワードを設定している場合は、「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されます。「パスワード」欄に、設定したパスワードを入力してください。「ユーザー名」欄には何も入力する必要はありません。**
- **設定ユーティリティの画面は、「PS Admin Ⅲ」の［詳細設定］をクリックしても、表示させることができます。詳しくはCD-ROM収録の「PS Admin Ⅲ 取扱説明書」をご覧ください。**

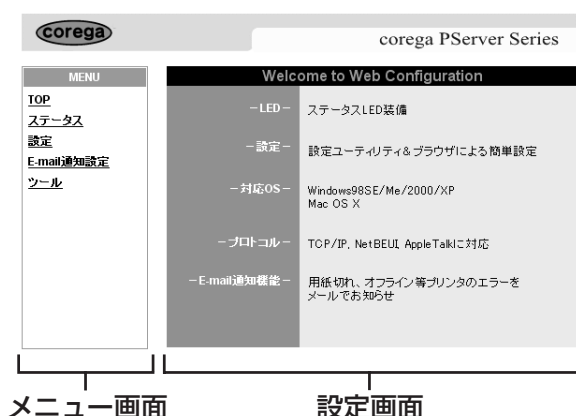
3　設定ユーティリティのTOP画面が表示されます。

設定ユーティリティが表示されない場合は、「PART3 トラブルや疑問があったら」「本製品の設定ユーティリティが表示されない」（P.26）をご覧になり、各項目を確認して、再度上記操作を行ってください。

●設定ユーティリティ画面を閉じる

設定ユーティリティ画面を閉じるには、画面右上の☒をクリックしてください。

設定ユーティリティの画面構成

設定ユーティリティ画面は、左側の「メニュー画面」と右側の「設定画面」からなります。

「メニュー画面」の各項目をクリックすると、「設定画面」に対応する設定項目が表示されます。

TOP : 上の画面です。設定ユーティリティを起動させたときに表示されます。

ステータス: 本製品、本製品のセキュリティおよびプリンタの設定を表示します。

- サーバステータス
- 無線ステータス
- プリンタステータス
- ユーザステータス

設定 : 本製品の基本的な設定、セキュリティ、および各プロトコルの設定をします。

- サーバ設定
- 無線設定
- TCP/IP
- NetBEUI
- AppleTalk
- ユーザ設定

E-Mail 通知設定 : プリンタエラー時の E-Mail 通知を設定します。

ツール : その他の設定をします。

- テストプリント
- メール送受信テスト
- 再起動
- 初期化
- ファームウェア更新
- 設定保存

各画面の説明

■ステータス

「ステータス」をクリックして、各項目をクリックしてください。

ステータス

サーバステータス　プリントサーバの情報が表示されます。
無線ステータス　無線の情報が表示されます。
プリンタステータス　プリンタの情報が表示されます。
ユーザステータス　ユーザの情報が表示されます。

●サーバステータス

本製品、および本製品を接続しているプリンタの各種情報を参照できます。

項目名	説　明
①プリントサーバ名	設定されているプリントサーバ名が表示されます。「PS」の後に本製品のMACアドレスの下6桁が表示されます。 サーバ名は変更することができます。「設定」「サーバ設定」(P.15)をご覧ください。
②ハードウェア	本製品のハードウェアバージョンが表示されます。
③ファームウェア	ファームウェアのバージョンおよび日付けが表示されます。
④MACアドレス	本製品のMACアドレスが表示されます。
⑤IPアドレス	本製品に設定されているIPアドレスが表示されます。
⑥動作時間	本製品が動作している時間が表示されます。

●無線ステータス

本製品の無線の状態を確認することができます。

項目名	説　明
①接続方式	設定されている接続方式が表示されます。 接続方式を変更するときは、「無線設定」（P.16）をご覧ください。
②リンク	本製品と通信先との接続状況が表示されます。
③ ESSID	本製品に設定されているESSIDと、本製品のMACアドレスが表示されます。
④チャンネル	本製品に設定されているチャンネルが表示されます。
⑤送信帯域	本製品に設定されているIPアドレスが表示されます。
⑥暗号化	本製品のセキュリティの設定状態が表示されます。
⑦送信パケット数	本製品の電源が入っている間に送信された総パケット数が表示されます。 本製品の電源を抜くと、数値がリセットされます。
⑧送信エラー数	本製品の電源が入っている間に送信された総エラー数が表示されます。 本製品の電源を抜くと、数値がリセットされます。
⑨受信パケット数	本製品の電源が入っている間に受信した総パケット数が表示されます。 本製品の電源を抜くと、数値がリセットされます。
⑩受信エラー数	本製品の電源が入っている間に受信した総エラー数が表示されます。本製品の電源を抜くと、数値がリセットされます。

●プリンタステータス

本製品に接続されているプリンタの状態を見ることができます。

項目名	説　明
①接続プリンタ名	本製品に接続されているプリンタの名称が表示されます。
②プリンタスピード	プリンタの処理速度が表示されます。
③プリンタステータス	本製品に接続されているプリンタの状態が表示されます。 ・オンライン　：プリンタに対し印刷が可能な状態です。 ・オフライン　：プリンタとの通信が確立していません。 ・用紙切れ　　：用紙が切れています。プリンタの機種によって「オフライン」と表示される場合もあります。 ・印刷中　　　：印刷中です。
④総プリントジョブ数	接続されているパソコンからプリンタに送信されているのファイルの総数が表示されます。
⑤総プリントサイズ	接続されているパソコンからプリンタに送信されているファイルの総データ量が表示されます。
⑥印刷の状態	現在のプリンタの状態が表示されます。
⑦ Name	現在プリント中のパソコン名が表示されます。
⑧ MAC アドレス	現在プリント中のパソコンの MAC アドレスが表示されます。
⑨ IP アドレス	現在プリント中のパソコンの IP アドレスが表示されます。
⑩プロトコル	現在のプロトコルの状況が表示されます。
⑪スプールサイズ	送信中のデータのスプール状況が表示されています。
⑫印刷サイズ	送信中のデータサイズが表示されています。
⑬各印刷状況	各項目の印刷状況が表示されます。

●ユーザステータス

プリンタを使用しているパソコンの状況と、印刷中のファイルの状況が表示されます。

ここをクリックすると、最新の
情報に更新されます。

項目名	説　明
① MAC アドレス	プリンタにデータを送信しているパソコンの MAC アドレスが表示されます。
② IP アドレス	プリンタにデータを送信しているパソコンのIPアドレスが表示されます。
③ユーザ名	プリンタにデータを送信しているパソコンの名称が表示されます。
④ Jobs	プリンタにデータを送信しているのパソコンからのファイル数が表示されています。
⑤サイズ(KBytes)	プリンタにデータを送信しているのパソコンからのファイルのデータ量が表示されています。

■設定

ここでは本製品の各種設定を行うことができます。ご使用の環境にあわせて設定を行ってください。
メニュー画面の「設定」をクリックし、各項目を選択します。

●サーバ設定

本製品および接続しているプリントサーバの基本的な設定を行います。

サーバ設定

プリントサーバ名 PSXXXXXX ①
ロケーション corega ②
管理者 システム課 ③
パスワード 新しいパスワード : ●●●●●● ④
確認用パスワード : ●●●●●● ⑤
USB ポート名 : P1 ⑥
保存 キャンセル

ここをクリックすると、設定が保存されます。

項目名	入力例	説　明
①プリントサーバ名	PSXXXXXX	パソコンからは、ここに入力した名称のプリントサーバが認識されます。 また、必要に応じて任意の名称に変更できます。 **※通常、変更する必要はありません。** **※同一ネットワーク内の、他の機器と同じ名前を使用することはできません。** **※入力可能な数字は、半角英数字、記号で15文字までです。必ず1文字以上入力してください。** **※工場出荷時の設定は「PS」に「本製品のMACアドレスの下6桁」をあわせた名称になっています。**
②ロケーション	corega	本製品の設定内容に名前をつけることができます。 入力可能な文字は、半角英数字・記号で40文字(全角で20文字)までです。詳細はネットワーク管理者にご確認ください。
③管理者	システム課	ネットワーク管理者名を入力できます。入力可能な文字は、半角英数字・記号で40文字（全角で20文字）までです。
④新しいパスワード	●●●●●●	本製品に、新しく設定するパスワードを入力します。 画面上では「●」または「＊」で表示されます。 **※入力可能な文字は、半角英数字、記号で8文字までです。工場出荷時には、パスワードは設定されていません。** **※設定したパスワードは、メモに控えるなどして、忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまったときは、「PART3 トラブルや疑問があったら」「パスワードを忘れてしまった」（P.31）をご覧ください。**
⑤確認用パスワード	●●●●●●	確認のため、④で入力したパスワードを再入力します。
⑥ポート名	P1	本製品を接続しているポートの名称を入力します。 **※入力可能な文字は、半角英数字、記号で48文字までです。**

入力可能な半角英数字・記号は「0〜9、a〜z、!” # $ % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ { ¦ } ˜ 」です。

●無線設定

本製品の無線の設定やセキュリティの設定を行います。接続するネットワークと同じ設定をしてください。

項目名	入力例	説　明
①接続方式	－	「インフラストラクチャ」「802.11 アドホック」から選択します。詳しい説明は本製品付属の「取扱説明書」をご覧ください。 **※ 工場出荷時は「インフラストラクチャ」になっています。**
② ESSID	corega	無線LANに接続する機器を識別する名前です。詳しい設定方法については、「PART1 セキュリティの設定について」「ESSIDを変更する」（P.5）をご覧ください。 **※工場出荷時は「corega」に設定されています。** **※入力可能な半角英数字・記号は「0～9、a～z、！”＃$％&’()*+,-./:;<=>?@[￥]^_{¦}˜」です。**
③チャンネル	6	使用する電波の周波数（無線チャンネル）で、1～13の13種類の中から設定できます。周辺の電波と混信するような場合に変更してみてください。 **※工場出荷時は「6」になっています。**
④ WEP 設定	－	「無効」「64bit」「128bit」から選択します。「無効」を選択すると、WEPを使用してのセキュリティをかけません。WEPを使用してのセキュリティをかけるときは、「64Bit」または「128Bit」を選択してください。詳しい設定方法については、「PART1 セキュリティの設定について」「WEPを設定する」（P.6）をご覧ください。 **※より強固なセキュリティをかけたいときは「128bit」を選択します。** **※工場出荷時は「無効」になっています。**

項目名	入力例	説　明
⑤キー１～４	−	キー1～キー4のそれぞれに、設定する暗号キーを16進数（0～9、a～f）で64bitのときは10文字、128bitのときは26文字で直接入力してください。
⑥使用キー	Key1	⑤で設定したキーの中から、使用するキーを選択します。 **※工場出荷時は「Key1」になっています。**
⑦認証方式	Auto	「Auto」「Open System」「Shared Key」から選択します。 **※工場出荷時の「Auto」の設定のままにします。**
⑧ WPA-PSK 設定	PSK12345	セキュリティに「WPA-PSK」を使用するときにチェックし、共有キーの欄に任意の暗号キーを入力してください。共有キーには8～64文字までの半角英数字および記号が使用できます。
⑨プリアンブルタイプ	Long	ネットワーク通信で送受信のタイミングを計るためのデータ（プリアンブル）を設定します。 ・Long　：パケット毎に同じ量の情報を送るので、安定性があります。 ・Short：プリアンブルを短く処理するので、安定性は下がりますが通信速度は上がります。 **※工場出荷時は「Long」になっています。**

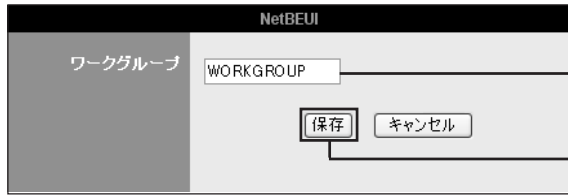
● TCP/IP

ここでは TCP/IP 設定を行うことができます。ご使用の環境にあわせて設定を行ってください。
メニュー画面の「設定」をクリックし、各項目を選択します。

必ず TCP/IP 設定を行ってください。
TCP/IP で印刷を行わない場合でも、設定変更などに必要となります。

項目名	入力例	説　明
①自動取得（DHCP）	－	LAN 内の DHCP サーバから IP アドレスが自動的に取得されます。 **※ DHCP サーバにより本製品の IP アドレスを割り当てる場合は、必ず毎回同じ IP アドレスが割り当てられるように DHCP サーバを設定してください。 割り当てられる IP アドレスが変わると、正常に印刷できなくなる可能性があります。また、DHCP を選択した状態でも、IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイの設定を変更することは可能です。空欄のまま保存すると、すべて「0.0.0.0」となります。**
②固定 IP	－	手動により IP アドレスを設定できます。 **※こちらを選択すると、設定や運用が①自動取得（DHCP）より簡単です。通常はこちらを選択してください。**
③IP アドレス	192.168.1.240	運用時に使用する IP アドレスを入力してください。 **※工場出荷時の設定値は「192.168.1.240」です。**
④サブネットマスク	255.255.255.0	運用時に使用するサブネットマスクを入力してください。 **※工場出荷時の設定値は「255.255.255.0」です。**
⑤デフォルト ゲートウェイ	0.0.0.0	運用時に使用するデフォルトゲートウェイを入力してください。 **※工場出荷時の設定値は「0.0.0.0」です。**
⑥DNS サーバ	0.0.0.0/0.0.0.0	DNS サーバを入力します。
⑦UPnP	－	有効を選択すると UPnP が有効なパソコンで認識します。IPP 機能を使用する場合は、「有効」を選択します。
⑧MAC Rendezvous	－	「Rendezvous（ランデブー）」機能に対応している Mac OS をご使用の場合は「有効」を選択します。
⑨セカンド HTTP ポート	0	リモートログインと IPP 機能を使用する場合は、「有効」を選択します。

「Rendezvous」機能については、Apple 社にお問い合わせください。

● NetBEUI

項目名	入力例	説　明
①ワークグループ	WORKGROUP	ワークグループ名またはドメイン名を入力してください。詳細はネットワーク管理者にご確認ください。 **※パソコンに設定されているものと同じワークグループ名を入力してください。入力可能な文字は、半角英数字（大文字）と以下の記号で最大15文字です。必ず一文字以上、入力してください。** **使用可能な記号：「:」、「'」**

● AppleTalk

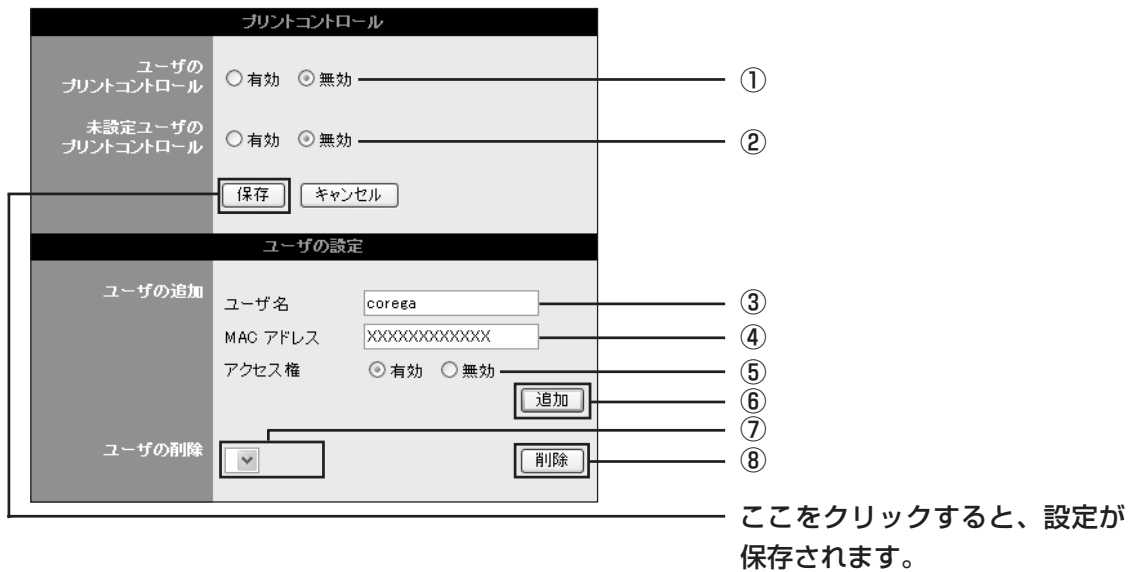
Macintoshから印刷する場合にのみ、本設定が必要となります。

項目名	入力例	説　明
① AppleTalkゾーン	＊	Macintoshに設定されているものと同じゾーン名を入力してください。ゾーン名はネットワーク管理者にご確認ください。 **※工場出荷時の設定値は「＊」です。入力可能な文字は、半角英数字、記号で32文字までです。また、必ず一文字以上入力してください。**
②接続プリンタ名	−	接続されているプリンタ名が表示されます。
③プリンタ機種名	LaserWriter	本製品を接続するプリンタ機種名を入力してください。参考として使用しますので、正確である必要はありません。 **※工場出荷時の設定値は「Laser Writer」です。入力可能な文字は、半角英数字、記号で32文字までです。また、必ず一文字以上入力してください。**
④ PostScript	Level 2	ご使用のプリンタに合わせて、レベルを選択してください。 **※通常は変更する必要はありません。**
⑤使用フォント	All Font	「No Font」「All Font」「Standerd 35」「Standerd 13」から選択します。**※通常は変更する必要はありません。**

入力可能な半角英数字・記号は「0〜9、a〜z、!” #＄%&’ ()*+,-./:;<=>?@[¥]^_{¦}˜」です。

●ユーザ設定

プリンタに送信できるユーザの登録、設定を行うことができます。

ここをクリックすると、設定が保存されます。

項目名	入力例	説　明
①ユーザのプリントコントロール	－	「有効」を選択すると③～⑦で設定した（⑤「アクセス権」は「有効」選択時）ユーザ（パソコン）のみ印刷することができます。設定していないユーザからは印刷できません。 **※「未設定ユーザのプリントコントロール」（②）を無効に設定しているときは、プリントすることができます。** 「無効」を選択すると、本製品に接続されているすべてのユーザから印刷することができます。
②未設定ユーザのプリントコントロール	－	「ユーザのプリントコントロール」（①）が「有効」に設定されているときに設定が可能です。 「有効」を選択すると③～⑦で設定されていないユーザ（パソコン）はプリントすることができません。 「無効」を選択すると、本製品に接続されているすべてのユーザから印刷することができます。
③ユーザ名	corega	プリンタに接続するユーザ名（パソコン名）を入力します。半角英数字・記号で最大24文字まで入力することができます。
④MACアドレス	XXXXXXXXXXXX	プリンタに接続するユーザ（パソコン）のMACアドレスを入力します。
⑤アクセス権	－	「有効」を選択すると、③④で入力したユーザは印刷することができます。 「無効」を選択すると、③④で入力したユーザは印刷することができません。
⑥追加	－	③～⑤で設定した内容のパソコンをユーザ登録し、ユーザテーブルに載せることができます。
⑦ユーザの削除 ⑧削除	－ －	削除したいユーザ（パソコン）を選択し、[削除]（⑧）をクリックすると、そのパソコンのユーザテーブルから削除されます。
		⑦で選択したユーザ（パソコン）を削除するときにクリック

入力可能な半角英数字・記号は「0～9、a～z、!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_{¦}~」です。

■E-Mail通知設定

紙切れ、およびオフラインが発生した場合に、障害情報をメールで受け取ることができます。

ダイヤルアップ環境での本機能の使用は、お控えいただくことを推奨します。
障害が発生する都度メールサーバへの接続が行われるため、異常課金の原因となる場合があります。

1　メニュー画面から「E-Mail通知設定」をクリックします。

項目名	入力例	説　明
①E-Mai通知	－	E-Mail通知機能を使用するかどうかを選択します。 ・**ON**　：E-Mail通知機能を使用します。 ・**OFF**　：E-Mail通知機能を使用しません。
②SMTPサーバ アドレス	123.45.67.89	メールサーバのIPアドレスを入力します。 **※POP before SMTPなどの認証を行うタイプのメールサーバでは、正常に機能しない場合があります。**
③アカウント名	corega	プロバイダから通知されたアカウント名を入力します。
④パスワード	●●●●●●	プロバイダから通知されたパスワードを入力します。
⑤送信先（to）	corega@xxx.ne.jp	E-Mail通知機能の送信先を設定します。アドレス入力欄にメール送信先のアドレスを入力します。 入力可能な文字は、半角の英数字、記号で64文字までです。 E-Mail通知機能の送信元 を設定します。 **※②で設定するメールサーバによっては、「送信元（from）」を入力しないと送信されない場合があります。**
⑥送信元（from）	corega@xxx.ne.jp	アドレス入力欄にメール送信元のアドレスを入力します。入力可能な文字は、半角の英数字、記号で64文字までです。
⑦メール送受信 テストへ	－	クリックすると「メール送受信テスト」画面（P.23）が表示されます。

入力可能な半角英数字・記号は「0～9、a～z、！”＃＄％＆’（）*＋，-．/：；<＝>？@［￥］^_{¦}~」です。

E-Mail通知設定をすると、プリンタにエラーが発生した際に、本製品より以下のようなE-Mailが送信されます。

To:corega@xxx.co.jp
Subject:CG-WLFPSU2G XXXXXXXX ― プリントサーバ名が入ります。
Server Name:PS ○○○○○○
Port Name:P1
Event:Printer:XXXXXXX

XXXXXXX には、以下のメッセージが入ります。

- On line ：プリンタに対し印刷が可能な状態です。
- Off line ：プリンタとの通信が確立していません。
- Paper Out ：用紙が切れています。

プリンタの機種によって、Off line と表示される場合もあります。

■ツール

その他、下画面内の項目の設定を行うことができます。

●テストプリント

［テスト］をクリックすると、本製品が正しくプリンタに接続されているかを確認する、印刷テストを行います。

●メール送受信テスト

［テスト］をクリックすると、「E-Mail通知設定」での設定が正しく行われているか、テストメールを送信します。

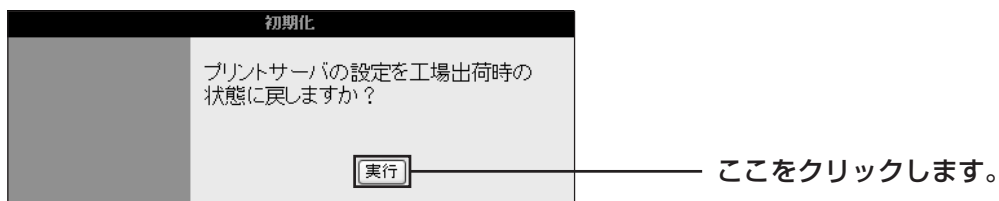
●再起動

［実行］をクリックすると、本製品の再起動を行います。

※「初期化」（次ページ）とは異なりますので、ご注意ください。

●初期化

［実行］をクリックすると、本製品の設定を工場出荷時の状態に戻します。詳しくは、本製品付属の「取扱説明書」をご覧ください。

※「再起動」（前ページ）とは異なりますので、ご注意ください。

本製品を工場出荷時の状態に戻すと今まで設定していた情報がすべて消え、購入したときの設定に戻ります。重要な設定をしている場合は、「PART2 トラブルや疑問があったら」「本製品の現在の設定を保存したい、再度同じ設定内容に設定したい」（P.33）をご覧になり、設定をパソコンに保存してください。

●ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新します。詳しくは「PART3 トラブルや疑問があったら」「最新のファームウェアを入手してアップデート（更新）したい」（P.36）をご覧ください。

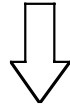
●設定保存

［保存］をクリックすると、本製品の現在の設定を保存します。
また、本製品を工場出荷時に戻すなどした後に、保存したデータを使用して、設定を戻すことができます。詳しくは「PART3 トラブルや疑問があったら」「本製品の現在の設定を保存したい、再度同じ設定内容に設定したい」（P.33）をご覧ください。

トラブルや疑問があったら

本製品を使っていて「困ったな」「うまく動かない…」と思ったとき、疑問があったときは、このPART で解決方法を探してください。

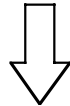
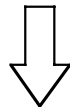
解決のステップ

①取扱説明書を再確認する / 管理者に確認する（次ページ）

②このPART のQ&A を確認する（次ページ）

●トラブルは?

・本製品の設定ユーティリティが表示されない
・パスワードを忘れてしまった

●疑問は?

・パソコンのIP アドレスを調べたい、更新したい
・本製品の現在の設定を保存したい、再度同じ設定内容に設定したい
・工場出荷時の設定に戻したい
・最新のファームウェアを入手してアップデートしたい

③コレガのホームページの情報を活用する（P.38）

④サポート窓口に問い合わせてみる（P.38）

取扱説明書を再確認する / 管理者に確認する

本書以外にも本製品に付属の「取扱説明書」、CD-ROM 収録の「PS Admin Ⅲ取扱説明書」や、接続しているプリンタの取扱説明書、パソコンに添付の取扱説明書をお手元にご用意ください。また、ルータやハブなどの他のネットワーク機器の取扱説明書もご用意ください。
ネットワークにつながらない原因は複雑なため、本製品の設定が正しくても、他の設定が間違っていたり、外部の装置の問題で正しくつながらないこともあります。なお、企業でお使いの方はネットワークの設定がオフィスによって決められていることがあります。接続できない場合はネットワーク管理部門や部内のネットワーク管理者などに確認してください。

Q & A

■本製品の設定ユーティリティが表示されない

●本製品とパソコンの IP アドレスは正しく設定されていますか？

①本製品のIPアドレスを「DHCP」で設定している場合は、設定ユーティリティ画面を開き、「設定」「TCP/IP」画面（P.18）で、IP アドレスが「192.168.1.240」、サブネットマスクが「255.255.255.0」（工場出荷時の設定）になっているかを確認してください。

②パソコンの IP アドレスを「192.168.1.1 ～ 192.168.1.254（192.168.1.240 を除く）」の間に設定します。

・パソコンの IP アドレスの調べかたがわからない場合は、この PART の「パソコンの IP アドレスを調べたい、更新したい」（P.32）をご覧ください。

・TCP/IPの組み込み方法や、設定方法については、無線LANアダプタに付属の取扱説明書、または各OSの説明書をご覧ください。

・パソコンの設定を行う前に、現在のネットワーク設定をメモしておいてください。

・すでに「192.168.1.XXX」以外のネットワークが構築されている場合、本製品の設定を行うためには、本製品と設定用パソコンで「192.168.1.XXX」のIPアドレスを持つ最小限のネットワークを構築する必要があります。設定用パソコンのIPアドレスを上記のように変更してください。なお、本製品の設定を行わないパソコンについては、IPアドレスを変更する必要はありません（本製品のIPアドレスと既存のネットワークとが異なっていても、プリンタへの接続は可能です）。

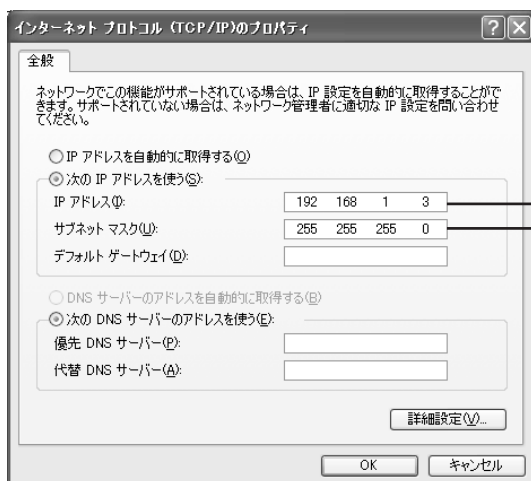
・本製品の工場出荷時のIPアドレスは、192.168.1.240です。これと同じ IPアドレスを持つ機器が既に存在する場合は、本製品の設定が完了するまで該当する機器の電源を切っておくか、LANから切り離しておいてください。

・本書では、設定用パソコンのIPアドレスを以下に設定したものとして説明しています。設定の際には実際の値に読み替えてください。
　IPアドレス　：192.168.1.3
　サブネットマスク　：255.255.255.0

（Windows XP/2000 の場合）

1　「スタート」－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット接続」をクリックし、ネットワーク接続をクリックします（Windows 2000 の場合は「スタート」－「設定」－「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック）。

2　「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。

3　「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

4　以下のように入力します。

6　［OK］をクリックします。

7　「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で［閉じる］をクリックします。

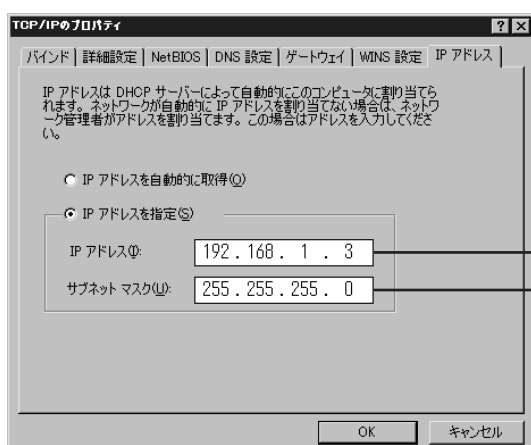
8　ネットワーク接続画面を閉じます。

（Windows Me/98SE の場合）

1　「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。

2　「コントロールパネル」にある「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

Windows Meの場合、よく使うコントロールパネルのオプションだけが表示されているときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックすると、「ネットワーク」アイコンが表示されます。

3　「ネットワークの設定」タブ内で「現在のネットワークコンポーネント」の欄にある「TCP/IP －> XXXXX（使用するネットワークアダプタ名）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

4　以下のように入力します。

5　［OK］をクリックします。

6　「ネットワーク」画面の［OK］をクリックします。

〈Mac OS X の場合〉

1　「アップルメニュー」－「システム環境設定」－「ネットワーク」をクリックします。

ネットワークの設定を複数されている場合、「ネットワーク」をクリックした後、本製品をお使いになる LAN ポートを選択してください。

2　「TCP/IP」をクリックすると、ネットワークの設定が確認できます。

MAC アドレスの確認は、「ユーティリティ」フォルダ内にある「Apple System profiler」で確認できます。

●無線セキュリティの設定は、正確に設定されていますか？

無線セキュリティは、「接続方式」「ESSID」「WEP」の設定が接続先ネットワークと同じ設定である必要があります。これらを確認して、再度ユーティリティ画面を表示させてください。
本製品の無線セキュリティの設定方法は、「PART1 セキュリティの設定について」（P.4）、「PART2 設定ユーティリティ画面について」「各画面の説明」「無線設定」（P.16）をご覧ください。
接続先ネットワークの無線セキュリティ設定の確認方法は、各製品の取扱説明書をご覧ください。

● Web ブラウザの設定がプロキシサーバを使用する設定になっていませんか？

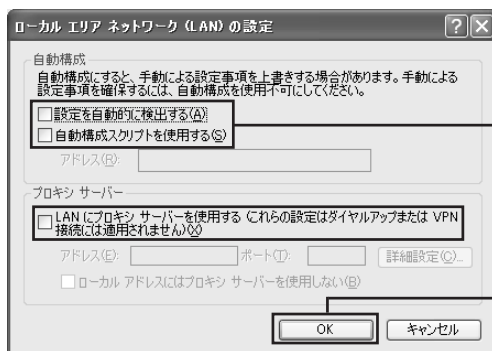
（Internet Explorer の場合）
次の手順でプロキシサーバを使用しない設定にしてみてください。ここでは Windows XP で、Internet Explorer 6.0 を使用した画面を例に説明します。

設定を変更する前に、すべての設定内容を紙などにメモしておいてください。設定を変更した結果、インターネットが利用できなくなる場合があります。この場合は、本製品の設定が完了した後、設定を元通りに戻してください。

1　Internet Explorer を起動して、メニューバーから「ツール」－「インターネットオプション」をクリックします。

2　「接続」タブをクリックし、［LAN の設定］をクリックします。

3　「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」画面のすべての項目のチェックマークを外し、［OK］をクリックします。

設定を変更する前に、すべての設定内容を紙などにメモしておいてください。

4　「接続」タブの［OK］をクリックします。これでプロキシサーバを使用しない設定になります。

設定変更した後に、インターネットに接続できなくなった場合は、本製品の設定完了後、設定を元通りに戻してください。

〈Safari の場合〉

1　「アップルメニュー」－「システム環境設定」－「ネットワーク」をクリックします。

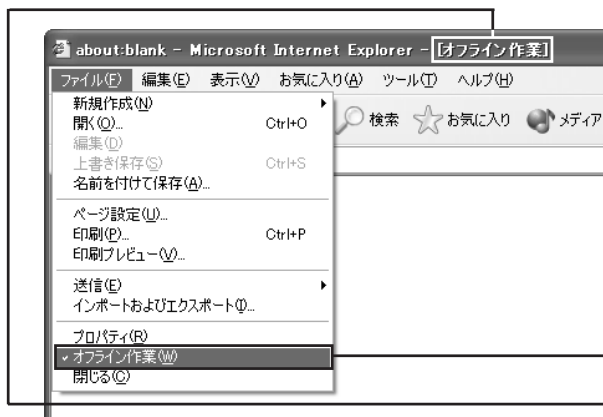
ネットワークの設定を複数されている場合、「ネットワーク」をクリックした後、本製品をお使いになる LAN ポートを選択してください。

2　「プロキシ」をクリックし、下図のように設定して、［今すぐ適用］をクリックします。

3　「ネットワーク」の画面を閉じます。

● Web ブラウザの設定が「オフライン作業」になっていませんか？

Webブラウザの設定が「オフライン作業」の状態では、ネットワークに対して通信が行われないため、本製品の設定ができません。次の手順で「オンライン作業」にしてください。ここでは、Internet Explorer 6.0 を例に説明します。

Internet Explorer を起動して、メニューバーから「ファイル」－「オフライン作業」をクリックしてチェックマークを外します。
「オフライン作業」の左側に表示されているチェックマークとタイトルバーの「オフライン作業」の表示が消えます。

■パスワードを設定するには

パスワードを設定することで、本製品の設定変更を管理者以外にできなくすることができます。パスワードの設定方法は、「PART2 設定ユーティリティ画面について」「各画面の説明」「設定」「サーバ設定」(P.15)をご覧ください。

本製品の工場出荷時の状態は、パスワード、ユーザ名とも設定されていません。

■パスワードを忘れてしまった

パスワードを設定後、パスワードを忘れてしまったときは、本製品の設定を工場出荷時の状態に戻してください(初期化)。初期化の方法はこのPARTの「工場出荷時の設定に戻したい」(P.35)をご覧ください。

- **工場出荷時の状態に戻すと、パスワードだけではなく、今まで設定していた情報がすべて消え、購入したときの設定に戻ります。重要な設定をしている場合は、初期化の前に本製品の設定をメモすることをおすすめします。**
- **「本製品の現在の設定を保存したい、再度同じ設定内容に設定したい」(P.33)は、パスワードも元の設定に戻るため、パスワードを忘れてしまった場合は使用できません。**

本製品の工場出荷時の状態は、パスワード、ユーザ名とも設定されていません。

■パソコンのIPアドレスを調べたい、更新したい

本製品よりパソコンに割り当てられたIPアドレスを調べる場合は、次の方法で行ってください。Windows以外のOSについては、OSのヘルプや取扱説明書をご覧ください。

（Windows XP/2000の場合）

1　［スタート］－「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックします。

2　キーボードから「ipconfig」と入力して、「Enter」キーを押します。パソコンのIPアドレスが表示されます。

```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥corega>ipconfig
```

「ipconfig」と入力します。

上の画面は例です。「C:¥Documents and Settings¥corega」の部分は、パソコンの使用環境によって表示が異なります。

3　IPアドレスを確認します。

```
Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.1.3
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . :
```

IPアドレスを確認します。

正しく表示されない、または更新したい場合は、

❶「ipconfig␣/release」と入力して、「Enter」キーを押します。

❷「ipconfig␣/renew」　と入力して、「Enter」キーを押します。

半角スペースを入力します。

〈Windows Me/98SEの場合〉

1　［スタート］－「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

2　「名前」の欄に「winipcfg」と入力して、［OK］をクリックします。

3　パソコンで使用しているネットワークアダプタを選択します。パソコンのIPアドレスが表示されます。

正しく表示されない、または更新したい場合は、

❶［解放］をクリックします。

❷［すべて書き換え］をクリックします。

■本製品の現在の設定を保存したい、再度同じ設定内容に設定したい

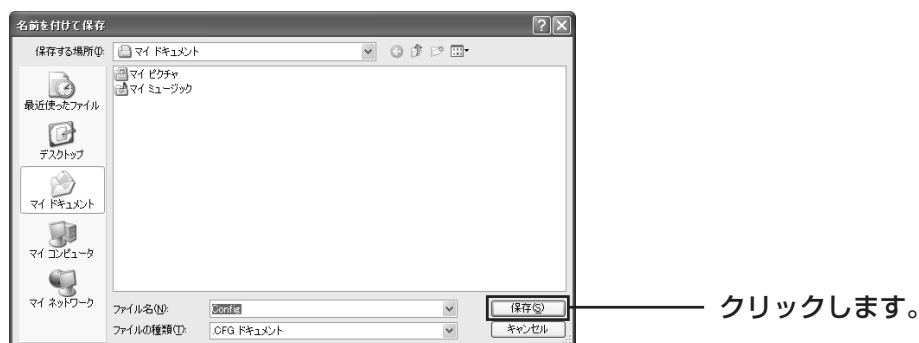
本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す(初期化)などの操作を行った際､すべての設定が消去されるため、以下の方法で設定をパソコンに保存することをお勧めします。
また、パソコンに保存したファイルを使用して、本製品を再度同じ設定内容にすることができます。

●現在の設定を保存する

1　設定ユーティリティを起動し、メニュー画面から「ツール」－「設定保存」をクリックします。

2　「設定保存」の画面で「設定ファイルの保存」の［保存］をクリックします。

3　「ファイルのダウンロード」画面が表示されたら、［保存］(または［OK］)をクリックします。

4　保存先、保存ファイル名を決め、［保存］をクリックします。(例として「マイドキュメント」フォルダに「Config（.CFG)」の名前で保存します。)

・拡張子（.CFG）は、パソコンの設定によっては表示されない場合があります。

・拡張子が表示されているとき、ファイル名を変更する場合は拡張子を消去しないように注意してください。

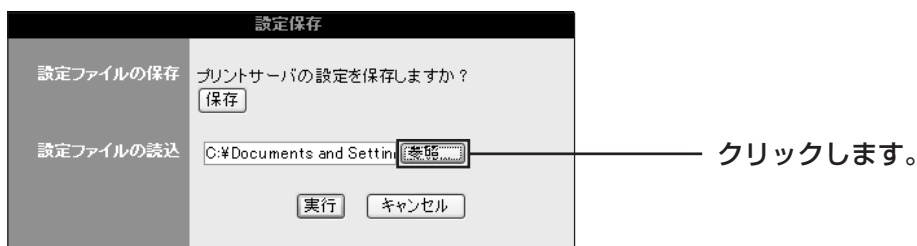
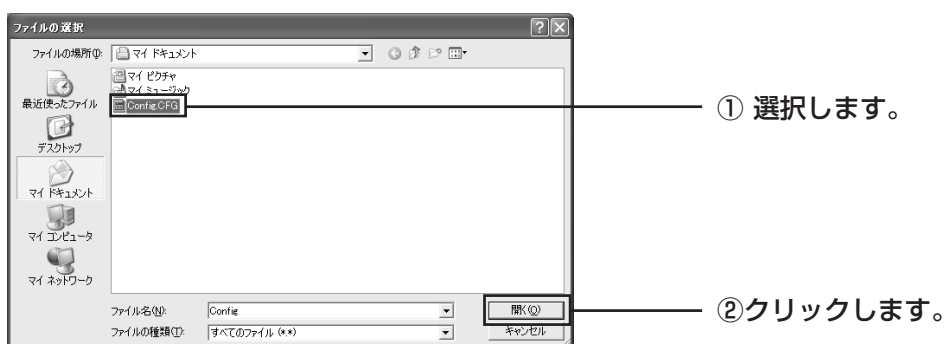
以上で設定の保存は完了しました。

(｢ダウンロードの完了」画面が表示された場合は、［閉じる］をクリックします。)

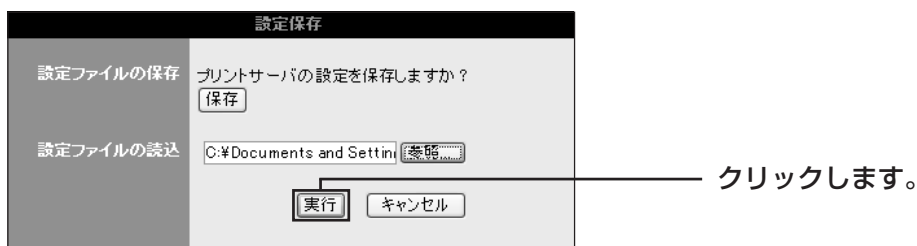
●再度同じ設定内容に設定する

ここでは、前ページで保存した「config（.CFG)」を使用して設定します。

1　設定ユーティリティを起動し、メニュー画面から「ツール」－「設定保存」をクリックします。

2　「設定保存」の画面で「設定ファイルの読込」の［参照］をクリックします。

3　設定保存ファイル「config（.CFG)」を選択し、［開く］をクリックします。

・拡張子（.CFG）は、パソコンの設定によっては表示されない場合があります。

・拡張子が表示されるように設定してある場合は、設定保存ファイル名に拡張子「.CFG」が付いていることを確認してください。

4　2の画面に戻ったら、［実行］をクリックします。

5　メッセージ欄に「設定ファイルの読み込みが完了しました」と表示されたら、再設定は完了です。

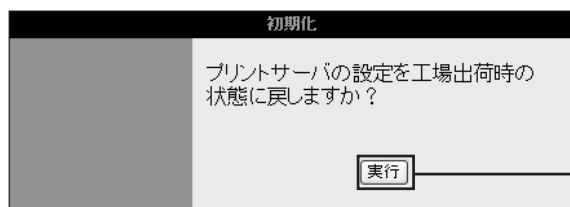
■工場出荷時の設定に戻したい

本製品の設定を工場出荷時の状態にするには「PS Admin Ⅲ」から初期化を行う方法と、設定ユーティリティから初期化を行う方法があります。
Windows 系の OS の場合はどちらからでも作業を行うことができます。
Mac OS の場合は、設定ユーティリティから作業を行ってください。
※本体の Init スイッチを使って初期化を行うこともできます（詳しくは、本製品付属の「取扱説明書」をご覧ください）。

- **再起動とは異なりますので、ご注意ください。**
- **本製品を工場出荷時の状態に戻すと今まで設定していた情報がすべて消え、購入したときの設定に戻ります。重要な設定をしている場合は、「本製品の設定を保存したい、再度設定したい」（P.33）をご覧になり、設定をパソコンに保存してください。**

●設定ユーティリティから初期化を行う場合

1　設定ユーティリティを起動し、メニュー画面から「ツール」－「初期化」をクリックします。

2　「初期化」の画面で［実行］をクリックします。

メッセージ欄に「初期化を実行しました」と表示されたら、初期化は完了です。

●「PS Admin Ⅲ」から初期化を行う場合

1　PS Admin Ⅲを起動し、［初期化］をクリックします。

2　「初期化してよろしいですか？」と表示されたら、［はい］をクリックします。

3　「初期化されました」と表示されたら、［OK］をクリックします。

以上で初期化は完了です。

■最新のファームウェアを入手してアップデート（更新）したい

本製品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアはコレガのホームページから入手してください。

http://www.corega.co.jp/

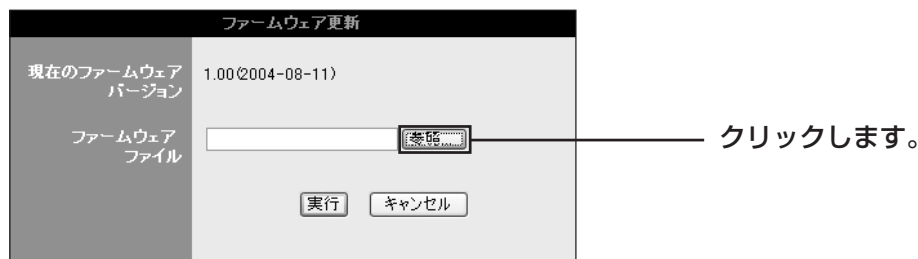
・ファームウェアをアップデートする前に、本製品の設定内容をメモしておいてください。

・ファームウェアをアップデート中は、他の操作を行ったり、本製品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアのアップデートに失敗したり、本製品の故障の原因となる場合があります。

ここでは例として「マイドキュメント」に「WLFPSU2G（.bin)」を保存した場合で説明します。

●設定ユーティリティから更新を行う場合

1　設定ユーティリティを起動し、メニュー画面から「ツール」－「ファームウェア更新」をクリックします。

2　「ファームウェア更新」の画面で［参照］をクリックします。

3　「マイドキュメント」フォルダ内にある「WLFPSU2G（.bin)」を選択して、［開く］をクリックします。

誤って別のファイルを開くと、続けてファームウェアの更新を行うことはできなくなります。一度設定用ツールを閉じ、再び起動してから更新を行ってください。

拡張子（.bin）は、パソコンの設定によっては表示されない場合があります。

4　2の画面に戻ったら、［実行］をクリックします。

5　しばらくして「ファームウェアが更新されました」と表示されたら、ファームウェアのアップデートは完了です。

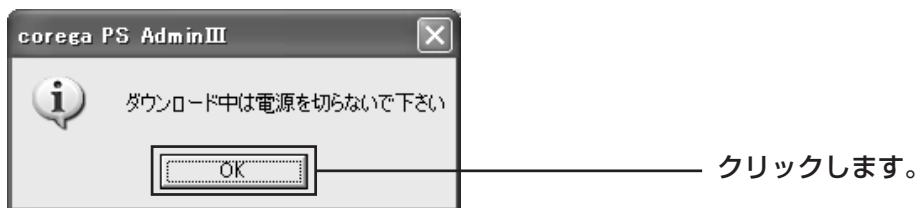
●「PS Admin Ⅲ」から更新を行う場合

1　PS Admin Ⅲを起動し、[ファームウェア更新] をクリックします。

2　「マイドキュメント」フォルダ内にある「WLFPSU2G（.bin)」を選択して、[開く] をクリックします。

誤って別のファイルを開くと、続けてファームウェアの更新を行うことはできなくなります。一度設定用ツールを閉じ、再び起動してから更新を行ってください。

- **拡張子（.bin）は、Windows の設定によっては表示されない場合もあります。**
- **拡張子が表示されるように設定してある場合は、ファイル名に拡張子「.bin」が付いていることを確認してください。**

3　「ダウンロード中は電源を切らないで下さい」と表示されたら [OK] をクリックします。ファームウェアの更新処理が開始されます。

4　「ダウンロードが完了しました」と表示されたら [OK] をクリックします。

以上で、ファームウェアの更新は終了です。

コレガのホームページの情報を活用する

コレガのホームページでは、お客様からのよくあるお問い合わせ情報や、ネットワークの一般知識を分かりやすく解説しているページを公開中です。
困っていることを解決するヒントになります。

http://www.corega.co.jp/faq/

サポート窓口に問い合わせてみる

以上のことをしても解決しなかったときは、弊社サポートセンタにお問い合わせください。
お問い合わせ先は、本製品付属の「取扱説明書」「保証と修理について」をご覧ください。

工場出荷時の設定

設定ユーティリティの工場出荷時は以下の設定となっています。

項目名		説　明
サーバ設定	プリントサーバ名	PSXXXXXX（X は MAC アドレスの下６桁）
	ロケーション	(なし)
	管理者	(なし)
	パスワード	(なし)
	ポート名	P1
	説明	(なし)
無線設定	接続方式	インフラストラクチャ
	ESSID	corega
	チャンネル	6
	WEP 設定	無効
	キー１～4	(なし)
	使用キー	キー１
	認証方式	Auto
	WPA-PSK 共有キー	PSK12345
	プリアンブルタイプ	Long
TCP/IP	自動取得 (DHCP)	無効
	固定 IP	有効
	IP アドレス	192.168.1.240
	サブネットマスク	255.255.255.0
	ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
	DNS サーバ	0.0.0.0/0.0.0.0
	UPnP	有効
	MAC Rendezvous	有効
	セカンドHTTPポート	無効
	ポート番号	0
NetBEUI	ワークグループ	WORKGROUP
AppleTalk	AppleTalkゾーン	＊
	プリンタ機種名	LaserWriter（ご使用の環境によって異なります。）
	PostScript	Level2
	使用フォント	All Font
ユーザ設定	ユーザのプリントコントロール	無効
	未設定ユーザのプリントコントロール	無効
	ユーザ名	(なし)
	MAC アドレス	(なし)
	アクセス権	有効
	ユーザの削除	(なし)
E-mail 通知設定	E-mail 通知	OFF
	SMTP サーバアドレス	(なし)
	アカウント名	(なし)
	パスワード	(なし)
	送信先 (to) アドレス	(なし)
	送信元 (from) アドレス	(なし)

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Mac OS は、Apple Computer.Inc の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカの商標または登録商標です。

2004 年 10 月　初版
2005 年 7 月　第二版